

第24回手話言語研究セミナー

ホームムービーが 呼び起こす ろう者の記憶

2026年 2/1(日) 10:00~15:30 ※受付 9:40

- 福岡市市民福祉プラザ ふくふくプラザ
- オンライン配信

申込フォーム
締切 1/19(月)



【第1部】10:00~12:20

講演・ディスカッション

コーディネーター: 牧原依里氏(映画作家)

参加費無料

要約筆記あり(予定)

日本手話言語
通訳つき

【第2部】13:20~15:30

手話言語研究所

研究発表(詳細裏面)

講演①

「ホームムービーが呼び起こすろう者の記憶」

社会福祉法人全国手話研修センター
手話言語研究所(厚生労働省委託事業)

テッド・スパラ氏
(ジョージタウン大学教授
手話研究室長)



マット・マルツクーン氏
(タウソン大学助教授
ジョージタウン大学研究コンサルタント)

HOME MOVIES HARDLY SILENT

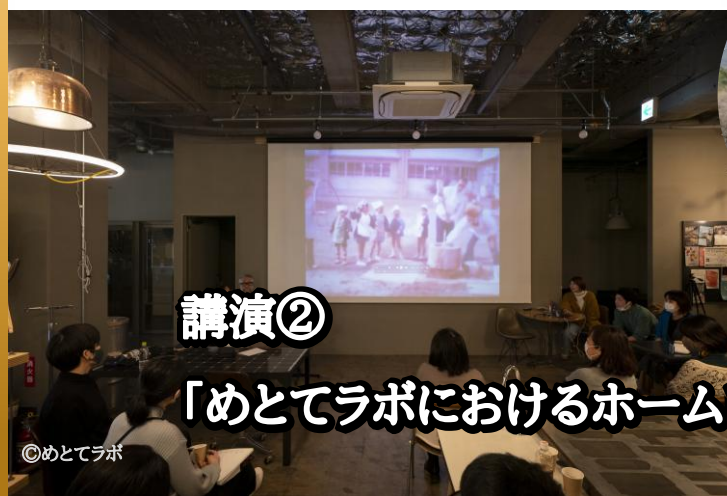
Unlocking Our Deaf Folklife Films

MATT MALZKUHN & TED SUPALLA

講演②

「めとてラボにおけるホームビデオ鑑賞会の取り組み」

ねもと かずのり
根本和徳氏
(めとてラボ全体統括
アーカイブプロジェクト世話人
福島県聴覚障害者協会教育文化・出版委員長)



©めとてラボ

2026.2.1 第24回手話言語研究セミナー

【第1部】

ホームムービーが呼び起こすろう者の記憶

子どもの頃、家族がビデオカメラを回して自分やきょうだいを撮っていましたか。ろう者が撮影したこのようなホームムービーから何が学べるのでしょうか。米国のテッド・スパラ氏とマット・マルツクーン氏、根本和徳氏による講演とディスカッションにお越しくください。

講師プロフィール

テッド・スパラ氏

Ted Supalla

- ・ジョージタウン大学 神経学教授および手話研究室長
- ・共著『手話考古学：アメリカ手話の歴史的ルーツを理解する』
(原題 *Sign Language Archaeology: Understanding Historical Roots of American Sign Language*)
- ・1925 年から 1940 年代にかけてろう文化を記録したろう者の映画製作者に関するドキュメンタリー映画を制作

マット・マルツクーン氏

Matt Malzkuhn

- ・タウソン大学 聴覚障害研究助教授
- ・ジョージタウン大学 手話研究室研究コンサルタント
- ・聴覚障害文化とアメリカ手話に関連するオンラインリソースを開発

根本 和徳氏

Kazunori Nemoto

- ・福島県いわき市出身
- ・特別支援学校に教諭として 10 年勤務
- ・めとてラボ全体統括 4 年目
- ・アーカイブプロジェクト世話人としてホームビデオ鑑賞会を実施
- ・福島県聴覚障害者協会理事 3 年目(教育文化・出版委員長)

【第2部】

手話言語研究所 2025 年度 研究発表

プログラム

●事務局 重田千輝(事務局長)

「2025 年度事業報告」

●標準手話研究部 東海班 武田太一研究員

「明治から令和におけるデフコミュニティの変遷 ～東海地方の場合～」

●外国手話研究部 池田ますみ研究員

「ラオスのろう者と手話」

●ろう教育研究部 (発表者調整中)

「ろう教員をとりまく現状と、 こどもと通じ合うための手話」

【申込・問い合わせ】

1/19(月)までに表面の QR コードよりフォームでお申込ください
メール申込、FAX 申込も受付いたします

社会福祉法人全国手話研修センター
手話言語研究所 事務局

E-mail jslri@com-sagano.com

TEL 075-873-2646

FAX 075-873-2647

公式サイト <https://jisls.com-sagano.com/>

【お知らせ】
研究誌 14 号

予約受付中

2 月 1 日発行予定

特集：手話言語と AI

